



命鮮やかに 豊穣の海



掲載写真お分けします 紙面パネルサービス
産経新聞社ビジュアルサービス 記念日の新聞1面をパネルで
☎ 06-6633-9831 ☎ 06-6633-9292
(平日の午前10時~午後6時・有料)
※2010年5月1日付以降の大阪本社発行
朝、夕刊1面が対象、税込み5000円
「産経新聞 写真販売コーナー」のHP (<http://www.sankei-kansai.com/shashin/>)

左からコブダイ、ニシキカンザ
シヤドカリ、オウミウシ、コ
ケギンボ
彦野公太朗 大塚聰彦

現在、大半島と橋でつな
がる周囲4キロの島も昭和32年
までは離島だった。島全体が
浸食を受けるほど激しい波
浪にさいされ、周囲は漁にも
せている。

「高知で最も美しい海」と
訪れた人が一度で魅了される
島。足摺宇和海国立公園にある
この島は、豊後水道と太平
洋から流入する黒潮に包み込
まれるため、温帯域と熱帯域
の魚類、サンゴが生息する國
内有数のダイビングスポット
である。

「まるで海にも頬があるか
のように、潮流の混じり合い
具合によって刻々と表情を変
えていく」

そう語るのは20年近く島と
海を見守り続けているNPO
法人「黒潮実感センター」の
神田優さん(45)だ。なるほ
ど、島を見てみると、浅い緑から
濃い藍までさまざまな色を見
せていている。

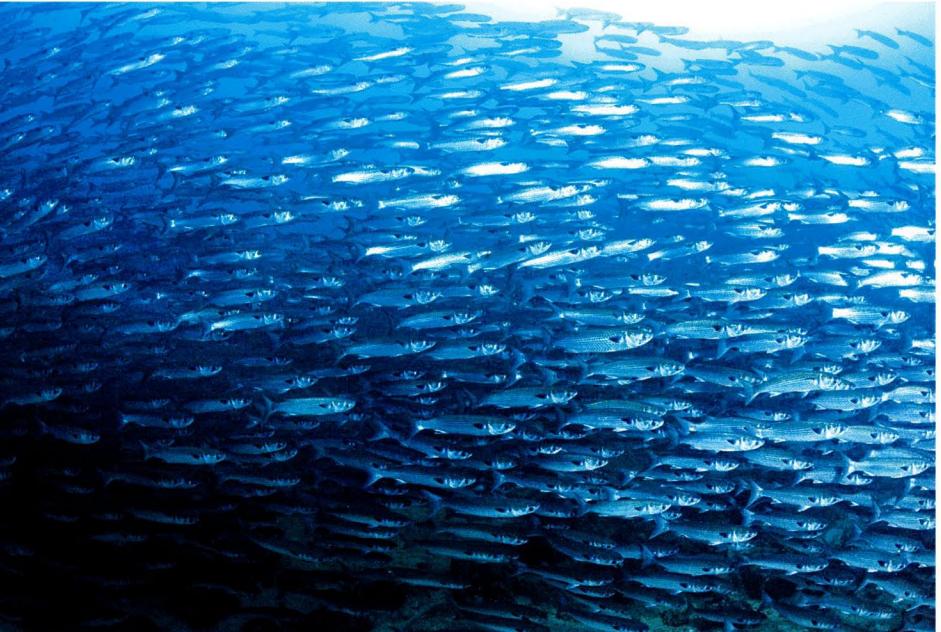
兼山が地形を改良すれば漁に
適した海になると見抜き、1
652年から7年の歳月をか
けて、島の三方に650ヶ所の
石墨を築き、さらに半島との
間に浅瀬を造成。以来、柏島
は優れた漁場へと変貌したの
である。

海に潜ってみると、早速愛
嬌のある顔が特徴のコブダイ
が出迎えてくれる。潮通しの
良いところが好みで生息する
軟質サンゴのウミトサカは、
色鮮やかな花畠のようだ。フ
ィンをギックしながら海中を
進むと、冷たい潮が心地よく
頬を伝う。岩陰に目を凝らす
と繁殖期を迎えたウミウシが
キラキラと宝石のようにな
る。

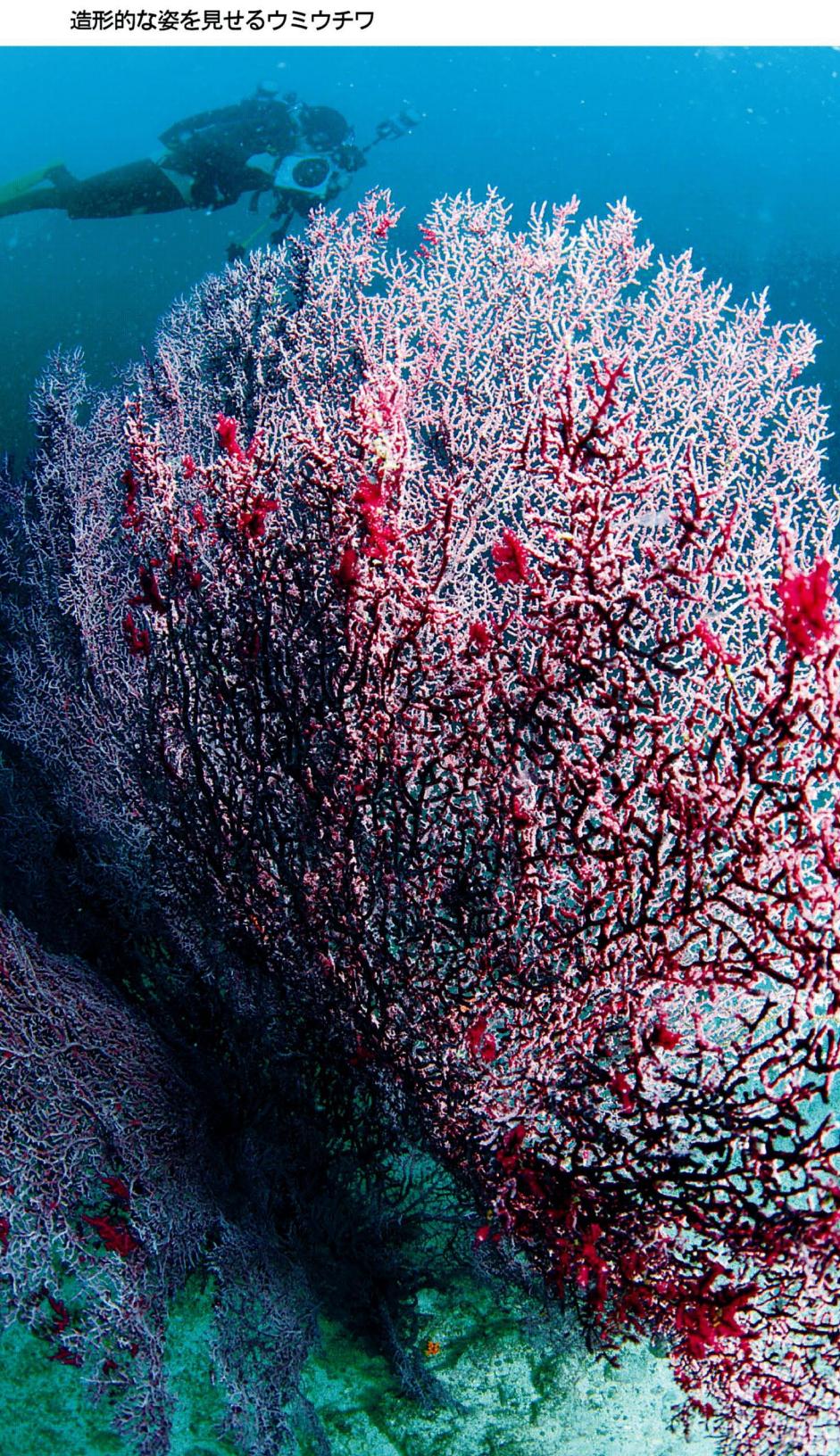
柏島の豊かな海の中で、多
様な命が輝いていた。



高知県・柏島
かとうじま
「高知で最も美しい海」と
訪れた人が一度で魅了される
島。足摺宇和海国立公園にある
この島は、豊後水道と太平
洋から流入する黒潮に包み込
まれるため、温帯域と熱帯域
の魚類、サンゴが生息する國
内有数のダイビングスポット
である。



目の前をきらめくボラの大群が通り過ぎた



造形的な姿を見せるウミウチワ